

第2節 総合的な環境保全行政の推進

1 奈良市環境基本条例

本市は、平成11年3月に「奈良市環境基本条例」を制定しました。この条例は、環境の保全と創造に関する基本理念を定め、市・事業者・市民・観光客等各主体の責務を明らかにするとともに、環境の保全と創造に関する施策の基本となる事項などを定めており、環境の保全と創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、現在及び将来の市民の安全かつ健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的としています。

2 奈良市環境審議会

環境基本法第44条では、市町村は、その市町村の区域における環境の保全に関して、基本的な事項を調査審議させる等のため、その市町村の条例で定めることにより、環境保全に関し学識経験のある者を含む者で構成される審議会等を置くことができると定められています。

本市では、昭和46年8月から奈良市公害対策審議会、平成6年8月から奈良市環境審議会として本市の環境行政に関する基本的事項を審議しています。

3 奈良市環境基本計画

平成11年3月に策定された「奈良市環境基本計画」は、奈良市環境基本条例第9条に基づき定めるもので、本市の総合計画を環境面から総合的、体系的に推進し、環境の保全と創造に関する各分野の施策、事業の基本となる計画です。

その後、本市は平成14年4月に中核市となり、平成17年4月には月ヶ瀬村・都祁村と合併して市域が拡大しました。また、急速に進む地球温暖化や生物多様性の危機等の複雑化・多様化する環境問題に対応するため、平成24年3月に「奈良市環境基本計画(改訂版)」を策定しました。策定にあたっては、公募市民、事業者代表、各種団体の代表者等で構成される環境基本計画市民ワークショップで議論した内容を計画に反映し、市民、事業者、市(行政)が協働して取組を推進していくための計画としています。

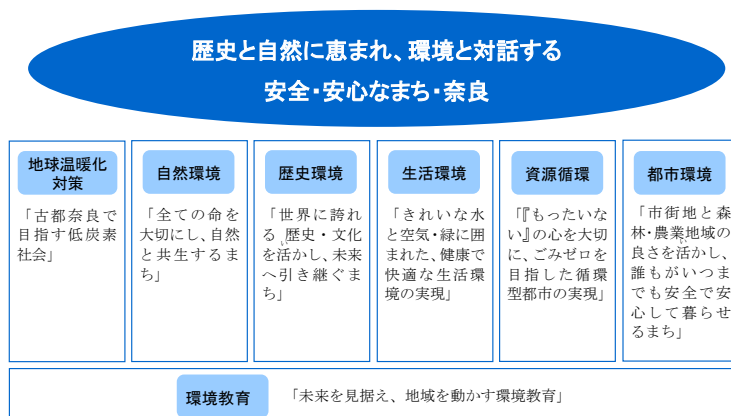
さらに、平成27年12月に開催された気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)において新たな法的枠組みとなるパリ協定が採択される等、国際的な地球温暖化対策や国のエネルギー政策が大きく見直されている情勢の変化に対応するため、平成29年3月に計画の中間見直しを行いました。

(1) 計画の期間

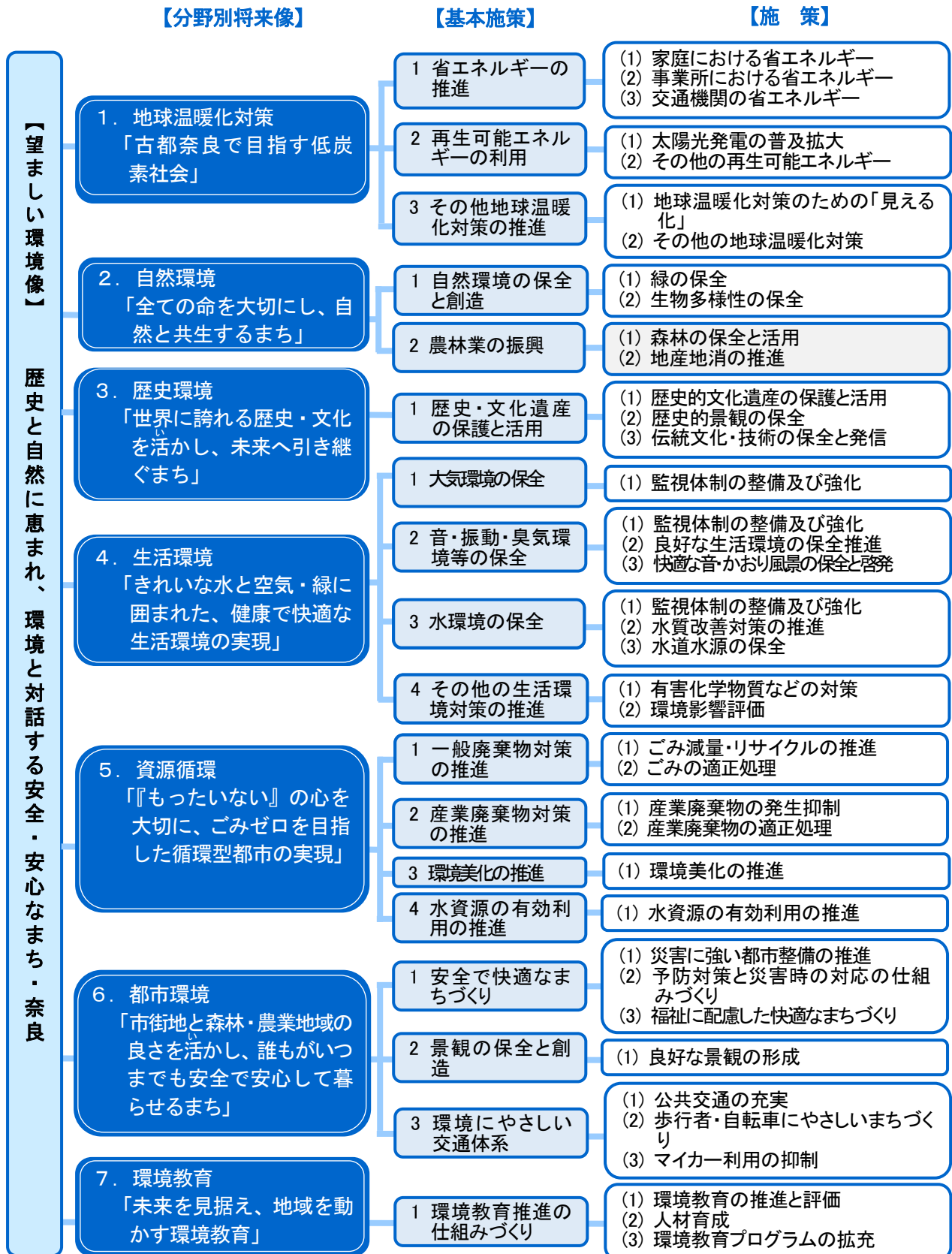
平成24年度(2012年度)から平成33年度(2021年度)までの10年間

※中間見直し後の計画期間は平成29年度(2017年度)から当初計画終了年度である平成33年度(2021年度)までの5年間としています。

(2) 望ましい環境像と分野別将来像



(3) 施策体系



(4) 計画の推進

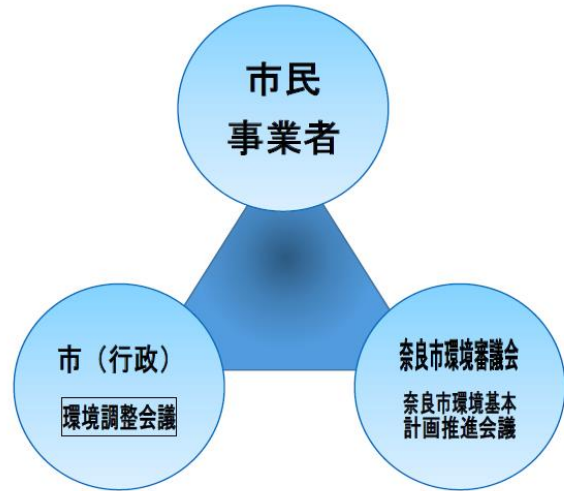
奈良市環境基本計画（改訂版）を総合的かつ計画的に推進していくために、指標を用いて施策の進捗状況を点検・評価し適切な見直しを図るとともに、市民、事業者、市（行政）が連携・協働する仕組みを形成し、推進体制を整備充実させ、計画の実効性を確保します。

・環境基本計画推進会議

環境基本計画の推進に当たっては、中心となる懇談会として環境基本計画推進会議を開催し、市民、事業者、市（行政）、奈良市環境審議会の協働による計画の進捗管理を行い、着実な推進を図ります。

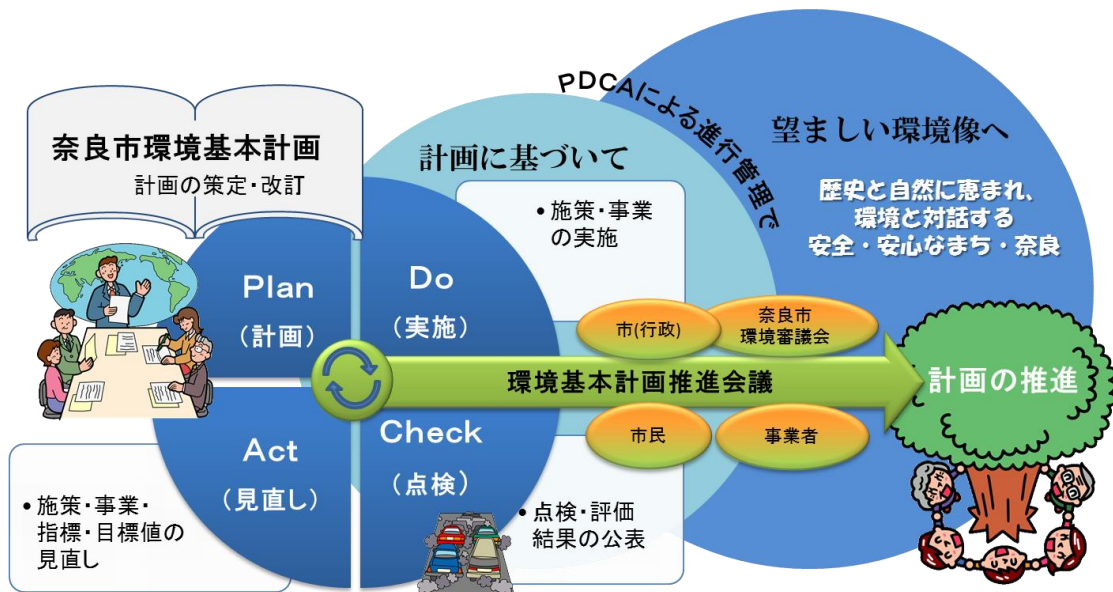
・環境調整会議

庁内の施策推進組織である環境調整会議で、庁内各担当部課の横断的な連携により環境施策の総合的な調整を図っています。



4 環境基本計画の進捗状況及びその評価

環境基本計画（改訂版）では、計画の着実な推進を図るため、PDCAサイクルによる進行管理を重要としています。そのため、分野別施策に対して参考となる指標を設けています。各指標の目標値に対する年度末現状値及び施策の進捗状況については、行政による達成度の点検・評価とともに、その自己評価結果に対する環境基本計画推進会議による意見や環境審議会による第三者的評価を併せて、総合評価とする形をとっています。環境基本計画推進会議での評価コメント結果については、各施策の実施部署にフィードバックし、必要に応じて施策、目標値等の見直し等を進めていきます。



5 分野別施策に対する指標と評価結果

(1) 評価方法

・項目評価

指標ごとに、4つの評価項目（単年度達成度、進捗率、波及効果、効率性）について評価します。

<評価基準>

評価点 項目	5点	4点	3点	2点	1点
単年度達成率	単年度目標をほぼ達成している。 (達成率85%以上)	単年度目標を75%以上達成している。	単年度目標を50%以上達成している。	単年度目標を25%以上達成している。	ほぼ未着手 (達成率25%未満)
進捗率	/	最終目標に順調に近づいている。 (最終目標達成率80%以上)	最終目標に近づいている。 (最終目標達成率70%以上)	最終目標に少し近づいている。 (最終目標達成率60%以上)	最終目標に近づいていない。 (最終目標達成率60%未満)
波及効果		環境改善に寄与し、かつ地域社会・市民・事業者などに好影響を与え、事業継続により、更なる発展が見込める。	環境改善や社会的な好影響がある程度認められ、事業継続により、今後の発展が見込める。	環境改善や社会的な好影響があまり認められないが、改善すれば事業継続の余地がある。	環境改善や社会的な好影響が認められず、事業継続による今後の発展が見込めない。
効率性		効率性が高い。	効率性は適当であると認められる。	改善の余地がある。	抜本的な見直しが必要である。

※効率性評価は、事業のやり方、進め方、成果に対して、コストが適切なものになっているか評価します。

・総合評価

4つの評価項目それぞれについて採点し、点数化された結果を基に、指標ごとの総合評価をまとめます。

総合評価	合計点数
A	13点以上（11点以上）
B	9点～12点（8点～10点）
C	6点～8点（5点～7点）
D	5点以下（4点以下）

※（ ）内の記載は、単年度達成率が評価できない場合の総合評価の基準です。

(2) 評価結果

【総括】

指標総数	32	推進会議のコメント	
総合評価	A	14	「環境基本計画(改訂版)中間見直し」や「第2次奈良市地球温暖化対策地域実行計画」を策定したことは評価したい。近年の地球温暖化問題は、私たちの生命の存続の危機を感じるまでに差し迫った問題として認識されるようになってきており、適応策に対する現状の分析や対策検討などが重要と考える。「環境基本計画(改訂版)中間見直し」は幅広い課題を掲げているので、うまく横断的に連携して全体で温暖化対策(特に温室効果ガス削減)に結びつけられるようになることを期待する。
	B	14	
	C	4	
	D	-	

1. 地球温暖化対策

【省エネルギーの推進】

指標	平成25年度	平成26年度	平成27年度	目標値 (平成42年度)	担当	関連ページ
市域の温室効果ガス 排出量(千t-CO ₂)	1,794	1,606	1,543	1,255	環境政策課	18~22
2013年度比削減率(%)	-	10.5	14.0	30		
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント			
1	3	2	排出量の多い民生部門の取組を中心に推進していくことだが、公共交通機関のエコ化、雨水タンク設置補助、グリーンカーテン普及事業にのみ予算がついており、パリ協定の内容を想定した対策には全く届かないことは否めない。また、多くの方が参加できるようにさらなる啓発をすすめることが重要だと感じる。省エネ・省CO ₂ の取組については、項目ごとに具体的な推進をして、目標達成を目指してもらいたい。			
単年度 達成率	総合評価					
1	C					

指標	平成27年度	平成28年度	目標値 (平成32年度)	担当	関連ページ
奈良市の事務及び事業 における温室効果ガス 排出量(t-CO ₂)	44,236 (53,990)	43,420 (53,666)	44,200	環境政策課	23~26
実績について…奈良市地球温暖化対策庁内実行計画(第3次)に基づき、排出係数を平成17年度[0.358kg-CO ₂ /kWh]で固定して計算しています。 ※ ()内は当該年度の排出係数(電気)を使用した場合[変動係数]の数値					
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
4	3	3	目標の5.0%の削減を前倒しで実現していることは評価できる。市が率先し温室効果ガス排出削減に積極的に取り組む行動は、市民や事業者への省エネ・節電意識向上に繋がり、今後も市民の見本となるような地道で継続した削減取り組みが必要不可欠である。第4次計画を策定し、更なる削減方法を検討し、継続して高い目標を掲げ取組を拡充していくことを期待する。		
単年度 達成率	総合評価				
5	A				

指標	平成27年度	平成28年度	目標値(累計) (平成29年度)	担当	関連ページ
LED街路灯の導入(灯) ※要望工事、修繕、引 継ぎを除く。(NEXT4事 業のみ)	14,477 (単年度 9,957)	27,104 (単年度 12,627)	38,000	道路維持課	28
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
3	4	3	着実に目標が達成されており、省エネ実践取り組みとして市民にも分かり易いため理解されやすく波及効果も大きい。LED灯への転換は省エネ行動の見える化でもあり市民・事業者への啓発にもなった。また、CO ₂ 削減にも貢献ができ効率面でも期待できる。今年度の最終目標を確実に達成してもらいたい。		
単年度 達成率	総合評価				
5	A				

【再生可能エネルギーの利用】

指標	平成27年度	平成28年度	目標値 (平成32年度)	担当	関連ページ
家庭用太陽光発電の設置割合(%)	9.4 (6,660戸/市内持ち家一戸建て総数71,030戸)	9.7 (6,900戸/市内持ち家一戸建て総数71,030戸)	15.0	環境政策課	28
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	3	2	認知度が高く、温室効果ガス排出削減にも非常に有効であるため、今後もまだまだ普及せねばならない。一層の普及を進めるには、国の動向等を見ながら今後の政策の検討が必要と思われる。		
単年度達成率	総合評価				
5	B				

2. 自然環境

【農林業の振興】

指標	平成27年度	平成28年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
人工林における間伐の施業面積(ha)	138	143.8	200	農林課	-
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	3	3	森林の機能を維持かつ高めることは、地球温暖化対策に寄与し、防災にも有効であり評価できる。木質バイオマス発電所や熱利用を含めた木質バイオマスのエネルギー利用など、多角的な木材利用の取組を期待したい。		
単年度達成率	総合評価				
5	B				

指標	平成27年度	平成28年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
市民ふれあい交流事業(ミニ直売所)(箇所)	6	6	10	農林課	39
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	3	3	地産地消の市民の意識・必要度はますます増しており、安全安心の見える関係づくりや運輸エネルギーの削減にもつながる。これまでの取組で浸透してきているようであり、交流事業がますます活発になることに期待が持てる。		
単年度達成率	総合評価				
3	B				

指標	平成27年度	平成28年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
農業地域と市街地との交流参加者数(人)	92	61	100	都祁行政センター 地域振興課	39
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
3	3	3	農業体験は、食育の観点からも重要な取組である。地産地消の促進にも寄与し、若者の農村回帰にもつながり、今後も継続して地域活性化も含めた積極的な取組に期待する。		
単年度達成率	総合評価				
4	A				

指標	平成27年度	平成28年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
奈良県産学校給食食材地産地消率(%)	38.03	33.84	50	保健給食課	40
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	3	3	米穀を奈良市産に切り替えることができたことが大きな成果であったと思う。食の安全安心の関心は益々増加しており、特に学校給食への地産地消食材採用は積極的に進めるべきである。学校給食で地元食材に子どもたちがふれることはとても有意義な取組だと思うので是非積極的な展開をお願いしたい。		
単年度達成率	総合評価				
4	B				

3. 歴史環境

【歴史・文化遺産の保護と活用】

指標	平成27年度	平成28年度	目標値(累計) (平成32年度)	担当	関連ページ
奈良町(旧市街地)における伝統的建造物の保存整備事業件数(件)	37 (単年度 14)	43 (単年度 6)	100	奈良町にぎわい課	43
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	2	2	奈良町の歴史的景観保全・町屋の維持は奈良市にとって大きな価値を持つと思われる。補助事業の見直しを実施したより一層の地域住民の理解を促すための取組は評価したい。観光客などにも魅力のあるスポットであると考えられるため、是非多くの事業者が出店を希望するような歴史を大切にしながらも楽しい・素敵な町並みづくりを期待する。		
単年度達成率	総合評価				
3	C				
指標	平成27年度	平成28年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
なら工芸館入館者数(人)	46,305	48,360	65,000	商工労政課	-
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	4	3	特別企画展等の新しい企画の実施によって入館者数が増加したことは評価できる。広報に力を入れ、市民に積極的な情報発信を継続的に実施することに期待する。		
単年度達成率	総合評価				
5	B				
指標	平成27年度	平成28年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
奈良伝統工芸後継者育成研修修了者数(人)	8	8	14	商工労政課	-
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	3	4	目標どおりの成果を上げていることを評価できる。後継者の育成は地道な取組であるが、研修終了者へのサポート体制が重要であり、今後も着実な実施を期待する。		
単年度達成率	総合評価				
5	A				

4. 生活環境

【大気環境の保全】

指標	平成27年度	平成28年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
光化学オキシダント環境基準の達成率(%)	89	91	環境基準の達成率向上を目指す	保健・環境検査課	60～74
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	2	3	近隣や大陸からの越境汚染の影響もあり、環境基準の100%達成は極めて難しいとは思いますが、引き続き環境基準の達成率向上を図るべく、国・県・近隣自治体と連携した広域的・長期的対策を継続してほしい。		
単年度達成率	総合評価				
5	B				

【音・振動・臭気環境等の保全】

指標	平成27年度	平成28年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
自動車騒音・環境騒音の環境基準達成率(%)	100	100	100%を維持する	保健・環境検査課	76～78
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
4	3	3	騒音環境基準の目標達成を継続していることは大いに評価できる。定期的な立入調査は重要な意味を持つと思われるため地道な調査及び監視を続けてほしい。		
単年度達成率	総合評価				
5	A				

【水環境の保全】

指標			平成27年度	平成28年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
市内河川のBOD環境 基準達成率(%)			100	100	100	保健・環境 検査課	85～89
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント				
4	4	4	環境基準の目標達成を継続していることが大いに評価できる。今後も市民や事業者向けの啓発活動の取組を清掃活動とともに継続されることを期待する。				
単年度 達成率	総合評価						
5	A						

【その他の生活環境対策の推進】

指標			平成27年度	平成28年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
ダイオキシン類対策特 別措置法に基づく特定 施設の立入調査(%)			90 (単年度 30)	100 (単年度 30)	100	保健・環境 検査課	101～102
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント				
4	3	3	目標どおりの成果を上げていることが評価できる。毎年度の特定施設の立ち入り調査は、事前予防の面からも重要であり継続実施してほしい。				
単年度 達成率	総合評価						
5	A						

指標			平成27年度	平成28年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
事業者によるダイオキシ ン類測定の実施率(%)			100 (10事業場のうち10事業場)	89 (9事業場のうち8事業場)	100	保健・環境 検査課	101～102
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント				
4	3	3	高い達成水準を維持していることは評価できる。達成率100%に向け、文書指導・立入検査を実施していくことに期待する。				
単年度 達成率	総合評価						
5	A						

5. 資源循環

【一般廃棄物対策の推進】

指標			平成27年度	平成28年度	目標値 (平成32年度)	担当	関連ページ
ごみ搬入量 (再生資源搬入量を除 く。)(t)			96,382	91,137	87,467	廃棄物 対策課	29～34
家庭系ごみ搬入量(t)			60,414	56,946	53,177		
事業系ごみ搬入量(t)			35,968	34,191	34,290		
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント				
4	4	3	全体での目標達成を継続していることは大いに評価できる。今後も、継続して取り組んでいただきたい。とくに家庭系ごみ搬入量の減少のために、今後も地道で継続的な取組を期待する。				
単年度 達成率	総合評価						
5	A						

【産業廃棄物対策の推進】

指標	平成26年度	平成27年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
産業廃棄物の最終処分率(%)	0.7	0.8	0.5	廃棄物対策課	111
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
2	2	2	目標達成に向けて、廃棄物の発生抑制、減量化、リサイクルの推進について継続的に取り組んでもらいたい。多量排出事業者に対して立入調査を継続して実施していく対策に効果を期待したい。		
単年度達成率	総合評価				
3	B				

指標	平成27年度	平成28年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
不適正処理(不法投棄、野外焼却等)件数のパトロール総箇所数に対する割合(%)	7	6	2	廃棄物対策課	111
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
2	3	3	監視活動の維持、啓発は大事である。日常的な監視パトロールの実施、市民・事業者への啓発活動、警察等の関係機関との連携等、地道な取組を継続していただきたい。監視活動以外の対策はどうすればいいのか検討する必要がある。		
単年度達成率	総合評価				
2	B				

【環境美化の推進】

指標	平成27年度	平成28年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
不法投棄警告センサー設置箇所数(箇所)	22	23	28	まち美化推進課	111
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	3	2	センサー設置計画を継続していることは評価できる。今後も継続した取り組みが効果を上げると思われる。また、ソーラーシステムによる自立電源型の警告センサー設置などにより、不法投棄ゼロを目指して推進してほしい。		
単年度達成率	総合評価				
5	B				

指標	平成27年度	平成28年度	目標値 (平成32年度)	担当	関連ページ
アダプトプログラム活動回数(回)	2,054	2,135	2,100	協働推進課	47
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	4	3	ボランティアによる道路や河川などの美化活動を支援することにより、市民の美化意識を向上し、地域コミュニティの再生も促進されることは大いに期待できる。参加意欲及び活動を継続させるために、インセンティブ施策として、奈良市ポイント制度との連携も検討し、若い世代も関心が持てるような工夫ができるとうい。		
単年度達成率	総合評価				
5	A				

【水資源の有効利用の推進】

指標	平成27年度	平成28年度	目標値(累計) (平成33年度)	担当	関連ページ
雨水タンク設置補助件数(件)	504 (単年度 95)	582 (単年度 78)	1,000	環境政策課	27
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	3	2	雨水タンクの設置による雨水利用は、省エネ・省資源対策の一環として身近で簡単にできる取組である。補助事業を実施し、市民に省エネ・省資源の取組を促すことにより環境保全意識の向上が期待される。		
単年度達成率	総合評価				
4	B				

6. 都市環境

【安全で快適なまちづくり】

指標	平成27年度	平成28年度	目標値 (平成32年度)	担当	関連ページ
住宅の耐震化率(%)	82.6	83.2	95	建築指導課	-
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	3	2	巨大地震に対する備えへの必要性は認識されている。耐震化の必要性・重要性の普及・啓発をさらに工夫して進めていただきたい。		
単年度達成率	総合評価				
5	B				

指標	平成27年度	平成28年度	目標値 (平成32年度)	担当	関連ページ
耐震性貯水槽の設置数(基)	43	43	47	消防局 消防課	-
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	3	3	大規模災害に備えた耐震性貯水槽の整備は必要であり、計画通り優先度の高い水利不便地への設置を優先し、今後も継続して取組を推進してほしい。		
単年度達成率	総合評価				
5	B				

指標	平成27年度	平成28年度	目標値 (平成27年度)	担当	関連ページ
自主防災防犯組織結成率(%)	98	100	100	危機管理課	-
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
4	3	3	100%近い自主防災防犯組織結成率を維持していること、今年度は全地域での結成が達成されたことが評価できる。地域によっては、組織の高齢化の問題もあり行政が住民をカバーできる支援策も工夫が必要と考えられる。防災防犯対策活動の支援を実施していくとのことであり期待される。		
単年度達成率	総合評価				
5	A				

指標	平成27年度	平成28年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
応急手当受講者数(%)	20.3	21.3	25	消防局 救急課	-
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
4	3	3	高い目標を掲げて取り組んでいることを評価したい。今後においても応急手当の必要性と重要性は拡大しており、市民に身近な場所での広報、普及啓発活動を推進されることに期待する。		
単年度達成率	総合評価				
5	A				

【景観の保全と創造】

指標	平成27年度	平成28年度	目標値 (平成32年度)	担当	関連ページ
市民1人当たりの都市公園面積(m ² /人)	6.4	6.6	6.7	公園緑地課	46
大規模公園を含む場合(m ² /人)	23.7	24.1	21.2		
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
2	3	1	防災上の役割もふまえて地域と調整を図りながら再調整を行う必要がある。地域の状況を把握し優先順位をつけて再整備を行うため、具体的な計画を進める必要がある。		
単年度達成率	総合評価				
-	C				

指標	平成27年度	平成28年度	目標値 (平成32年度)	担当	関連ページ
グリーンサポート制度による公園管理率(%)	28	27	40	協働推進課	46
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	3	3			
単年度達成率	総合評価		計画通り、制度の理解を広めるための市民だよりやホームページなどで広報するとともに、今後はグリーンサポート制度とポイント制度との連携等により、少しでも多様な世代の市民が参加できるように期待する。		
5	B				

【環境にやさしい交通体系】

指標	平成27年度	平成28年度	目標値 (平成32年度)	担当	関連ページ
パークアンドサイクルライドの利用者数(人)	3,068	3,816	3,200	交通政策課	38
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
4	4	3			
単年度達成率	総合評価		渋滞対策とともに、運輸部門の温室効果ガス削減にもつながる重要な事業である。奈良県や奈良市が連携して、より一層観光部門等との連携を図り、継続した取組が期待される。		
5	A				

7. 環境教育

【環境教育推進の仕組みづくり】

指標	平成27年度	平成28年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
学校園での環境出前講座開催数(講座)	127	130	150	環境政策課	48～50
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	3	3			
単年度達成率	総合評価		次世代を担う子どもたちへの環境教育を行うことは重要であり、環境出前講座を実施することで、親の意識も改善し、生活の見直しや環境問題を考えるきっかけになっている。継続的に事業を進めるためにも、学校サイドの人材育成とより充実した予算措置が必要である。将来に向けての環境教育のカリキュラム導入への足掛かりでもあり、今後の進展に大いに期待したい。		
5	B				

指標	平成27年度	平成28年度	目標値 (平成32年度)	担当	関連ページ
市営青少年野外体験施設の利用者数(人)	12,577	12,279	12,200	生涯学習課	-
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
4	3	3			
単年度達成率	総合評価		青少年が環境保全意識を高めるためにも重要な環境教育の場である。今後も新しい企画や広報活動の拡充等に取り組み、さらなる利用促進に期待したい。		
5	A				

指標	平成22年度	平成28年度	目標値 (平成33年度)	担当	関連ページ
環境保全活動に参加したいと思う市民の割合(%)	63.4	56.7	75	環境政策課	-
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント		
1	3	3			
単年度達成率	総合評価		環境保全意識の向上に向けて、新たな普及啓発や情報発信も検討し取り組んでいくことに期待する。		
1	C				